

四日市西警察署協議会議事録

| | |
|--|--|
| 令和4年度第3回四日市西警察署協議会 | |
| 日 時 場 | 令和4年12月5日（月）午後1時30分～午後2時45分 四日市西警察署3階会議室 |
| 出席者 | <p>1 警察署協議会委員 6名 門脇健司委員、川嶋和美委員、黒田優華委員、高木美紀子委員、萩村浩史委員、松岡篤委員</p> <p>2 警察署 7名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長</p> |
| 傍聴者数 | なし |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 議 事 概 要 | |
| <p>1 警察署長挨拶</p> <p>2 管内の治安情勢について（警察署長）</p> <p>(1) 刑法犯認知件数 「本年10月末の認知件数は198件（前年同期比+17件）であり、窃盗犯が約7割強で侵入窃盗、自転車盗が増加している。」旨説明した。</p> <p>(2) 特殊詐欺の発生状況 「当署管内では本年10月末現在で3件の発生を認知し、258万円の被害が出ている。 百貨店や銀行協会を騙ったアポ電が多く、被害を防止するため警察署で自動通話録音警告機を貸与しており、また、菰野町による最大5千円の補助金がある旨を広報している。」旨説明した。</p> <p>(3) 交通事故発生状況 「本年10月末現在、1,391件の交通事故が発生（前年同期比+32件）しているが死亡事故の発生はない。事故はミルクロード、477号、306号で多発している。事故形態は追突が最も多い。」旨説明した。</p> <p>(4) 山岳遭難事故発生状況 「本年10月末現在、26件の山岳遭難が発生し、4名が亡くなっている。遭難発生時には迅速に対応するため消防や防災、また、滋賀県警との合同訓練などを実施し、山岳警備隊員の練度の向上を図っている。」旨説明した。</p> <p>3 令和4年中における事件・事故などの発生状況について 今年中に当署管内で発生した主たる事件・事故について、各月ごとの発生及び対応状況を説明した。</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) セアカゴケグモの発生について <委員> 四日市西署の玄関に「セアカゴケグモに注意」という掲示されていたが、実際確認されたのか。 【副署長】 今年の春に玄関先でセアカゴケグモを発見したため保健所の指導に基づいて駆除し、周囲を殺菌消毒した。 夏以降の発見はないが、貼り紙により注意喚起を行っている。</p> <p>(2) 山岳遭難について</p> | |

<委員> 御在所岳、鎌ヶ岳等容易に登れる山ばかりかと思っていたが事件・事故の発生状況を聞き、山岳事故が非常に多く大変驚いている。

山岳遭難対応における警察の心構えを聞かせてほしい。

【副署長】 山岳に関しては、消防、観光協会と連携し対応しているが、県外からの単独者による登山事故が多い。

当署からは単独登山を控えていただくほか、登山届の確実な提出と経験やレベルに応じたコースを登ることを推奨している。

(3) 児童虐待について

<委員> 児童虐待については、どのレベルになると警察が対応するのか。

また、児童相談所とどのように連携しているのか。

【生活安全課長】 児童相談所、役場、学校と連携し、ささいな前兆でも構わないので警察署等へ相談する旨を日頃から伝えている。

その中で警察が把握し、強制事件として取り扱うべきものは鋭意捜査を実施している。

<委員> 近頃は考え難いような児童に対する性的虐待もあるようで、周りの大人がしっかり前兆を見逃さないように心掛けたい。

<委員> 児童の問題が出たので、当保育園での性的虐待防止に関する取組をご紹介したい。

子供達にプライベートゾーンを人に見せないことを教育している。

例えば保育士であっても見せない、着替える時はタオルを巻くようにと指導している。

保育士による虐待が多発していることから緊急職員会議を開き、児童への声掛け方法についてチェックリストを設けて実施している。

不適切なことをしている職員を認識した際に同僚でも「駄目だ」と伝えられる職場作りを目指している。

(4) 防犯カメラについて

<委員> 刑事事件の発生状況の説明を受けたが、当社でもバッテリーを数個盗まれたことがある。

防犯のため防犯カメラを設置しているが、映像を提供する際にこういった形で提供するのがよいのか教えてほしい。

また、畑の霜よけファンの配線を盗まれたことがあるが県内でも発生が多いのか。

【刑事課長】 警察では、様々な機材に対応して映像を確認している。

霜よけファンの配線は、当署管内において他に発生の把握はないが他の導線盗難については当署管内以外でも発生がある。

被害に遭われた際は直ちに通報いただければ対応する。

【副署長】 防犯カメラについては犯罪の未然防止と被疑者の逮捕につながるという2つの役目を持つが、未然防止という観点からは、「防犯カメラ設置中」「不審人物は警察に通報します」等の表示板も販売されており、これらを有効活用していただきたい。

(5) 山岳遭難について

<委員> ヤマップというアプリを活用する登山者が多いが、アプリに頼り過ぎると大雨の後など、アプリの地図表記と状況が変わっていることがあるのでボランティア等に確認し、事前にルートを視察して、誰もがわかりやすいルートを登ることが望ましい。

<委員> 御在所岳については5つルートがあり、このように様々なルートがあることすら知らない人や、どのルートを登るか決めずに来る人が多く散見される。
登山届を提出することも大事であるが事前の確認が必要である。

(6) 温泉街の廃墟について

<委員> 事件事故発生状況の中に廃墟での火災の話があったが、当日は観光客も驚いていた。
観光面において、廃墟というだけでマイナス面が大きく、そこに輪をかけて火災ということで私達も捜査状況が気になっているので進捗状況を教えてほしい。

【刑事課長】 捜査情報はお伝えするわけにはいかないのですが、ご了承ください。

廃墟についてはSNS等を通じて面白半分に多数の者が訪れる事実がある。

地域課による夜間の廃屋警戒や住民からの通報を通じて現場にいる者には嚴重注意をしている。

廃墟関係で何かあればすぐに110番通報いただきたい。

<委員> 306号の宿野とミルクロードの大強原で交通事故が多いとの説明であったが、事故形態やどうすれば事故の発生を防止できるのか、お聞きしたい。

【交通課長】 主要幹線道路や交通量の多い道路で交通事故は多く発生する。

宿野、大強原については大型スーパーがあるので、人、交通量ともに多く、事故形態としては脇見による追突、出会い頭の事故が多い。

そのため交通事故抑止対策として取締り、駐留警戒等に努めている。

| | |
|-----|--|
| 備 考 | |
|-----|--|